

臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所
TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

平成30年1月
A-18-01

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

下記検査項目におきまして、試験紙法の測定原理上、pH 8.0以上の強アルカリ性尿の場合、蛋白定性結果は偽陽性を示すことがあります。弊社では、pH 8.0以上かつ尿蛋白定性(±)以上の場合、希酢酸を用いて再検査していましたが、希酢酸添加後再検値と尿蛋白定量値との検討を行ったところ一致率が65.8%となりました¹⁾。

より正確な結果を提供するために尿蛋白定量を測定し、検査報告書(フリーI)に「(参考)尿蛋白定量値」として報告させて頂きたくご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- ◆ 実施日 平成30年1月15日(月) ご依頼分より
- ◆ 変更内容

2016・17年 検査案内	項目コード	検査項目	変更箇所	新	旧
p.42	35010	尿一般	報告形式	検査報告書(フリーI)に『(参考)尿蛋白定量』を追加	なし

※ 検討結果と検査報告書(例)を裏面に記載しましたのでご参照下さい。

※ 尚、追加費用は発生致しません。

< 検討結果 >

		尿蛋白定量値 (尿試験紙のカットオフ該当濃度)				
		(-)	(±)	(+)	(2+)	(3+)
		~12 (mg/dL)	12~25 (mg/dL)	25~65 (mg/dL)	65~200 (mg/dL)	200~650 (mg/dL)
再検値 (希酢酸添加後)	(-)	7	0	0	0	0
	(±)	7	6	0	0	0
	(+)	2	3	7	0	0
	(2+)	0	0	0	5	1
	(3+)	0	0	0	0	0

・一致率 : 65.8%

・不一致率: 34.2%

【参考資料】

1) 「尿試験紙における蛋白定性値と定量値の乖離についての検討」: 茨臨技会誌 : 76 : VOL.49 : 2017

< 検査報告書 (例) >

検査報告書 (フリー1)				
コード	40011	顧客名	セントラル医学検査研究所 様	
		受付日	2018 年 01 月 09 日 提出医	
		カルテNo		
		氏名	テスト 様	
病棟		受付No	0109-50001	性別 年齢
		透析	尿量 mL	
検査項目	コメント	検査結果	基準値	単位
尿一般検査		*****		
・比重		1.015	1.005-1.030	
・pH	H	8.0	5.0-7.5	
・ウロビリノーゲン		(+)	(+)	
・ビリルビン定性		(-)	(-)	
・ケトン体		(-)	(-)	
・蛋白定性		(+)	(-)	
・糖定性		(-)	(-)	
・潜血反応		(-)	(-)	
・亜硝酸塩		(-)	(-)	
・(参考)尿蛋白定量		5	10未満	mg/dL

※

※ pH 8.0 以上かつ尿蛋白定性 (±) 以上の場合のみ報告します。